社会資本総合交付金

東日本大震災からの復興に向けた法面対策（復興）

事後評価資料

平成29年 10月

仙台市

社会資本総合整備計画（復興）　事後評価書

平成29年9月19日

計画の名称	東日本大震災からの復興に向けた法面対策（復興）		
計画の期間	平成24年度　～　平成27年度　（４年間）	交付団体	仙台市

計画の目標

道路法面等の防災対策により緊急輸送道路のネットワークを確保し、東日本大震災からの復興に向けた市民生活や経済活動を支えるとともに、災害時における避難や救助、救援などの対応力を強化する。

計画の成果目標（アウトカム指標）

緊急輸送道路の道路防災対策（要対策箇所）の完了数を100%とする。

アウトカム指標の定義及び算定式	アウトカム指標の現況値及び目標値 当初現況値（H24当初）	中間目標値（H25末）	最終目標値（H27末）	備考
道路防災対策の総事業箇所数に対する当該事業の完了箇所数の割合を算出する。 整備改善率＝（Σ（道路防災対策完了箇所数））／（Σ（道路防災対策必要箇所数））×100	50 %	77 %	100 %	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	560 百万円	A	560 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市独自に実施	平成２９年度
	公表の方法
	仙台市ホームページにて公表

１　交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　地方道路整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率（基本）	要素事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27		全体事業費（百万円）	備考
A-1	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.55	（主）定義仙台線　大倉高柵工区	道路防災工（法面対策）　L=70m	仙台市						11	
A-2	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.55	（一）泉ヶ丘熊ヶ根線　大倉菖蒲沼工区	道路防災工（法面対策）　L=30m	仙台市						12	
A-3	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	国道	修繕	0.50	（国）４５７号　九ノ森トンネル工区	道路防災工（法面対策）　L=10m	仙台市						19	
A-4	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	市道	修繕	0.55	（市）十里平線　十里平工区	道路防災工（法面対策）　L=20m	仙台市						37	
A-5	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.55	（主）仙台泉線　将監トンネル工区	道路防災工　L=791m	仙台市							
A-6	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.55	（主）仙台山寺線　馬場釜淵工区	道路防災工（法面対策）　L=200m	仙台市						22	
A-7	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.50	（国）４５７号　長袋沢端工区	道路防災工（法面対策）　L=20m	仙台市						12	
A-8	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	市道	修繕	0.55	（市）杉ノ崎蒜但木線　福岡菅ノ崎工区	道路防災工（法面対策）　L=30m	仙台市						21	
A-9	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.55	（主）仙台山寺線　長袋舘工区	道路防災工（法面対策）　L=94m	仙台市						23	
A-10	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.55	（主）仙台山寺線　鷹ノ巣工区	道路防災工（法面対策）　L=985m	仙台市						54	
A-11	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	都道府県道	修繕	0.55	（一）仙台館腰線　太白大橋	橋梁補修(耐震補強)　L=630m	仙台市						175	
A-12	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	市道	修繕	0.55	（市）白沢熊ヶ根線　野川橋	橋梁補修(長寿命化事業・耐震補強)　L=48m	仙台市						174	
														合計			560	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率（基本）	要素事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27		全体事業費（百万円）	備考
													合計			0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率（基本）	要素事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H24	H25	H26	H27			
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2　事業の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ　定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	道路法面等の防災対策の実施により緊急輸送道路のネットワークが確保され、災害時における避難や救助、救援などの対応力の強化に寄与した。				
Ⅱ　定量的指標の達成状況	指標（道路防災対策の総事業箇所数に対する当該事業の完了箇所数	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100 %		
Ⅲ　定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）					

3　特記事項（今後の方針等）

・【A-5　（主）仙台泉線　将監トンネル工区】の防災対策は、事業実施期間内に市単独費等で実施済みであるため、対策完了として評価している。

・今後も引き続き、新たな防災対策箇所が生じた際は速やかに対策を推進し、災害に強く安全・安心に利用できる道路ネットワークを確保する。

仙台市

東日本大震災からの復興に向けた法面対策（復興）①

道路法面等の防災対策により緊急輸送道路のネットワークを確保し、大震災からの復興に向けた市民生活や経済活動を支えるとともに、災害時における避難や救助、救援などの対応力を強化する。

（一）泉ヶ丘熊ヶ根線　大倉菖蒲沼工区

対策前

▲風化等による部分的な法面浸食が進行

▲法面の部分的な表層崩壊を確認

▲道路下への崩積土砂の堆積を確認

対策完了

▲落石防護柵を新たに設置

仙台市

東日本大震災からの復興に向けた法面対策（復興）　②

道路法面等の防災対策により緊急輸送道路のネットワークを確保し、大震災からの復興に向けた市民生活や経済活動を支えるとともに、災害時における避難や救助、救援などの対応力を強化する。

（主）定義仙台線　大倉高柵工区

対策前

▲モルタル吹付け法面の老朽化が進行

▲モルタル吹付け面の剥離を確認

▲モルタル吹付け背面の金網露出を確認

対策完了

▲モルタル吹付けでリニューアル